

進路について考える…将来の不安

クローズアップ現代という番組を見たことがありますか？月曜から木曜の午後10時からNHKで放送している番組です。

「えーっNHK」って言わずに見てください。さすが公共放送だけあって内容の良い番組がたくさんあります。「NHKスペシャル」はお金がかかっている分、内容も素晴らしいです。堅い番組だけではなく、「L I F E」というコント番組は面白し、「オイコノミア」という経済の番組もわかりやすいし、音楽番組だってそれなりに…。

話は戻って、クローズアップ現代です。世の中の出来事について、新聞やニュースよりも掘り下げて解説してくれます。時事問題に役立ちますし、**小論文を書くときの知識や教養にもなります**。面接試験にも使えます。何より、生き方について考えさせられるテーマが多く取り上げられています。そんな中で、今回は10代20代にクローズアップしたテーマ内容を「羅針盤」的に取り上げたいと思います。

“あしたが見えない” 10代20代に広がる貧困

さいたま市に暮らす美穂さん(19歳)の生活です。朝5時半に向かったのは、アルバイト先のコンビニエンスストア。通信制高校で学ぶ美穂さんは、学費を稼ぐために、時給の高い早朝と夜、週平均15時間働いています。月収は5万円程度だといいます。母子家庭で、4人兄弟です。パートで働く母親は、持病を抱えているため、収入が不安定な生活を送ってきました。生活費を親に頼れないため、高校生になってからは、食費は自分で負担しています。



「ご飯はカップラーメンだったり、あとはパンとか、そういうの買って、どうにかしています。」

美穂さんは、食費1日分を数百円に抑えているそうです。さらに、アルバイト代から1万円を、家計に入れています。

“安定した職を得て、今の生活から抜け出したい。”そう考えた美穂さんは、保育士になるため、春から夜間の専門学校に通うことにしました。

専門学校の入学金は5万円で済むコースを選びました。しかし、月々の授業料は、毎月8万円かかります。そのうち**5万円は奨学金で支払う予定ですが、卒業後に返済しなければなりません**。「どう暮らしたい？」と訪ねられた美穂さんは、次のように答えました。

「理想はないですね、基本。今の生活から脱出して、朝9時くらいからお昼までとか、お昼から夕方までバイトして、夕方普通に家に帰ってという感じが、今1番理想ですかね。」

今、10代、20代の働く女性は、全国で503万人。しかしこの20年、正規の職に就ける若い女性は、急速に減っています。**高校卒業の女性の場合、正規の仕事に就ける人は、48%にとどまっています**。

青森県から職を求めて19歳で上京した女性、菜央さん(25歳)の話です。地元では、職種を問わず正規の仕事を求めましたが、結局かなわず、時給650円前後のアルバイトを掛け持ちしてしのいでいました。

「ファミレスに朝 10 時出勤の 4 時半までやって、5 時からピザ屋さんで 9 時までやって、9 時半にスナック行って、閉店まで 2 時か 3 時まで働いて、本当に時給安くて、すごく働いた気がするけど、やっと 10 万いったりとか…。」

25 歳になった菜央さんは、現在 2 つの仕事を掛け持ちして、月の収入は 13 万円程度。ガス代を節約するために、煮物を作るときには、必ず余熱で別の料理を作るといいます。周囲の男性も非正規で働く人が多く、結婚して出産することは考えられないといいます。「子どもを生みたい願望はありますか？」と尋ねると、こういう答えが返ってきました。

「それ 1 番ないです。自分 1 人でこの状態で、いっぱいいっぱいなのに、子どもいたらアウトだなんて思って。最悪自殺まで考えちゃうんじゃないか…。」

8割が貧困状態 20代のシングルマザー

若い女性に広がる貧困。さらに年々深刻な状況に陥っているのが、10代、20代のシングルマザーです。今、**20代のシングルマザーのうち、およそ 80%が、年収 114 万円未満の貧困状態**に置かれています。



広島市に住む、麻美さん（28 歳）の話です。麻美さんは 4 歳と 2 歳の息子を育てています。保育所で、時給 800 円で働いています。フルタイムで働いて、収入は月 10 万円ほどです。母子家庭に支給される、およそ 4 万円の手当などを加えて、なんとか家計を維持しています。

「食費をできるだけかけずに、うどん 1 玉を 3 人で食べたり、汁を多めに作って、汁で腹いっぱいにするっていうのはよくありますね。」

6 人兄弟で育った麻美さんは、家庭の経済事情を気遣い、中学を出るとすぐに働き始めました。今、麻美さんは高校卒業の認定資格を取る勉強を始めています。なんとか、安定した仕事に就きたいと考えています。

「下の子は夜中によく起きるんです。いつもこんな感じです。精神的にも金銭的にも 1 人なので、自分にもしものことがあったらと、ふと思いますね。自分が倒れたら、2 人とも餓死するんじゃないかとか考えますね。」

テレビ番組を文章に起こすのは難しいですね。うまく伝わったでしょうか？どんな感想を持ちましたか？

美穂さんも麻美さんも高卒資格を手に入れられそうということなので、まずは 1 つクリアです。次は保育士の資格を取ることができかどうかです。保育士は手堅い仕事ではありますが、今話題になっているように（知っていますよね？知らない人は新聞を読みましょう）、賃金水準としてはそれほど高くない仕事ですので、借りた**奨学金の返済が重くのしかかってくる可能性がある**と思います。

菜央さんは「結婚・出産は無理」と答えています。なぜだと思います？今回は女性の話しか書いていませんが、彼女たちと同様に、**非正規雇用の男性たちも最低賃金ぎりぎり働いている**状況です。さらに今の社会は、**非正規の女性は非正規の男性としか出会えない**というように、生活空間が隔絶されてしまっています。つまり、経済力のある男性と出会えないのです。

同じ給与どうして働いて、**非正規なので、産休・育休が取れない**中で、子どもを産んで育児ができるかと言われると、「無理だな」となってしまうのです。シングルマザーの麻美さんの生活を見ると、冷静な判断だと言えますね。